



お江戸舟遊び瓦版 1066号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

江東区議会傍聴「マイナス地域防災対策」に注目

はじめに：

2024年度第3回定例会を傍聴した。

- 日 程： 9.19 本会議 10.8 厚生委員会
10.9 建設委員会 10.10 文教委員会
10.16 清掃港湾・臨海部対策特別委員会
交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会
10.17 防災・まちづくり対策特別委員会
10.21 本会議

《委員会で注目された点、質疑等》

9.19 本会議

大久保区長：能登半島地震を見て、区の防災力向上に努めたい。
新区庁舎WSが始まった。区民から愛される新庁舎を目指したい。
区民の誰もが安心安全な区政にしていきたい。

K：首都直下型地震が懸念されている。耐震化を進め災害に強い
まちづくりを進めたい。防災センターと新庁舎を一体化するべきと思う。

N：地震や水害に負けない江東区防災に向けて、食糧備蓄の拡充と保管場所の強化を進めるべきだ。

S：外国人、観光客、オーバーツーリズムに対応できる防災都市を望む。

K：災害時の地域福祉対応、ICTの利用促進、おひとり様終活をに配慮してほしい。

A：ワンステップ窓口。非正規職員の正規化を進めて欲しい。

10.8 厚生委員会

- 化学物質、電磁波問題、障害者支援、ワクチン問題、特養ホーム、児童館、給食への有機食材導入問題、日常生活自立支援、保育士問題等と多数陳情と、ヤングケアラー周知シンポジウム等々課題が多く、特に保育士、訪問介護士不足が大きな課題で、抜本的な検討対策が必要と指摘された。新しく、保育園の定員割れ問題・廃園による保育・教育の充実を求める陳情が出された。

10.9 建設委員会

- 仙台堀川公園整備は無電柱化整備ありきと聞いているが、安全上側道の幅員は問題ではないか。カワセミの生息地でもあり、環境に十分配慮した工事を進めて欲しい。
- 越中島川護岸耐震補強工事陳情：早急に船宿問題を解決し、工事着工を進めて欲しい。護岸のひび割れ問題など、住民の命を守るために早期に進めるべきで、あまりにも遅すぎる！

6.20 文教委員会

- 放課後児童クラブ、小学校学区見直し、給食、領土教育、LGBT理解推進法問題など20本の陳情。
- 教育現場で子供の生命・身体、財産の被害に関する事案について調査委員会で改善に努めるべきだ。
- 園児の減少に伴う区立幼稚園問題は十分な調査検討が必要だ。

6.20 清掃港湾・臨海部対策特別委員会

- 東京23区清掃一部事務組合職員の参加を得て、中防不燃・粗大ごみ処理施設設備工事問題が議論され、S議員から工事中の水質管理を問われ、その必要性を強調された。
- 能登半島地震時の有害でない災害廃棄物を受け入れることが承認された。
-



10.16 交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会

- ・ 亀戸-新木場 LRT 構想、城東地域の交通弱者対策、都心と臨海部を結ぶ BRT 問題、東京メトロ株売却中止を求める陳情などが審議され、継続になった。
- ・ 枝川駅周辺まちづくりについては周辺の意見を十分聞いて進めて欲しいという意見が多い。

10.17 防災・まちづくり対策特別委員会

江東区のすべての地下鉄に浸水安全対策、防災対策のさらなる充実を求める陳情：

- ・ 8/21 豪雨時の地下鉄市ヶ谷駅の浸水に異常事態への質問あり、区は東京メトロから対策が完了したと報告を受けていると回答されたが（止水板強化で対応）、真摯な対応を議員が求めた。さらに、下水の噴出など問題に対し、区は区内にアンダーパスなどないので OK との回答。

都営亀戸団地建替計画：水没対応として集会所・防災倉庫を高層階に設置するよう要請あり。

江東区国土強靱化地域計画：消防団増員、猛暑対策、液状化対策、消火器が地域のだれもが緊急時に対処できるように、区民への周知推進を区に区議が求めた。

都市計画マスタープラン 2022 の成果管理：浸水対応まちづくりを進めていく。満足度が下がっているのは問題だ。

大島3丁目まちづくり：住民の声を広く聞く意見調整会を設けた。

S：意見調整会は区民の意見を聞くのが必要なのに、もう決まったものとの考え方強すぎる。

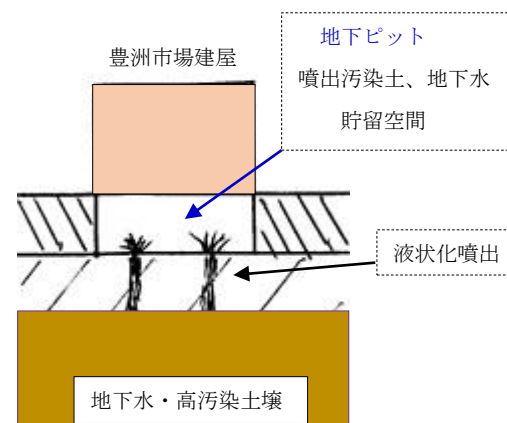
民間集合住宅棟の建設計画：300戸を超す計画について学区問題があるので十分対策すべきだ。

民間建築物耐震促進事業：@能登地震で大災害があり、木造建築基準の改正を進めた。

《検討課題》

① 中防不燃・粗大ごみ処理施設設備工事・水質管理、 豊洲市場高度汚染地下水質噴出問題

中防同様に、過去の汚染物質による埋め立てによる土壌汚染問題は、豊洲市場地下ピット水質問題のペンディングに通じている。豊洲市場の市場建屋に5m深もの地下ピットをつくり、首都直下型地震時に地下から噴出してくる高度汚染土・水（ベンゼン、シアン、ヒ素）を地下ピットに貯め、化学処理する計画と推測される。豊洲市場地下はもと東京ガスのガス製造時の石炭灰の埋め立て地で、地下に高濃度の汚染物質で埋め立てられている抜本的な課題が隠されている。一時しのぎの水質調査では抜本的な解決策にはなりえない。長い十分な常時管理が必要だ。



② 地下鉄8号線の浸水安全対策、さらなる対策の充実を求める区議会陳情

江東区民の命を守るべき最大課題は「マイナス地域防災」で、国土交通省荒川下流河川事務所 のフィクションドキュメンタリー『荒川氾濫』によると、北区で荒川が決壊し、地下鉄入口から地下鉄内にも浸水し、霞が関まで浸水が及び、ビジネスや国政も機能不全になると予測されている。江東区のマイナス地域では地下鉄は危険だ！参考：[フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」令和3年3月改訂版（字幕なし）・YouTube](#)

③ 「江東5区マイナス地域」防災：電柱地中化や地下鉄は、温暖化が進み台風が大型化していることや、30年に70%の確率とも予測されている首都直下大震災による荒川破堤・氾濫は大変危険で、その対応を考えないのは区民の命を守るべき行政の不作為行為に相当する。

所感：従来の区政をリードされた故山崎区長の時代は経済成長・産業発展を重視した区政が行われ、住民の生命を軽視してきた感がある。幸い、大久保新江東区長は、小池知事と懇意な関係と思われるので、近いうちに大規模水害が予想される江東区の防災対策の前進に期待が持てるのではないだろうか。江東区政世論調査における区民の要望施策第一位は防災対策：浸水・津波だ。

今後は、区民の生命を最優先に、民主的なジェンダーバランスを重視し、誰ひとり取り残さない、安心安全な江東区・地域社会づくりを行政と区民の連携で進めて行きたい。（文責 中瀬）